【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2003-274358(P2003-274358A)
【公開日】平成15年9月26日(2003.9.26)
【出願番号】特願2002-70286(P2002-70286)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　5/92
　Ｈ０４Ｎ　5/225
　Ｈ０４Ｎ　5/232
　Ｈ０４Ｎ　5/915
　Ｈ０４Ｎ　7/18
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　5/92　　Ｈ
　Ｈ０４Ｎ　5/225　　Ａ
　Ｈ０４Ｎ　5/225　　Ｃ
　Ｈ０４Ｎ　5/225　　Ｆ
　Ｈ０４Ｎ　5/232　　Ｚ
　Ｈ０４Ｎ　7/18　　Ｄ
　Ｈ０４Ｎ　7/18　　Ｅ
　Ｈ０４Ｎ　5/91　　Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成16年4月26日(2004.4.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９４】
　ステップＦ１０２又はＦ１０３で、使用者の切換操作、或いは管理局４０からのレート切換指示として前方優先レートへの移行の操作又は指示を検出すると、コントローラ５１はステップＦ１０６に進み、前方優先レートで撮像（記録／送信）が行われるようにする。即ち、ストレージエンコード部５３ａ及び通信エンコード部５４ａに対するフレームレート及び／又は圧縮レートが、ストレージエンコード部５３ｂ及び通信エンコード部５４ｂに対するフレームレート及び／又は圧縮レートより高品位のレートとなるように制御する。
　これによって前方カメラ部２ａで撮像される映像データが、後方カメラ部２ｂで撮像される映像データよりも高品位な映像データとされて、メモリカード３０への記録、又は管理局４０への送信出力が行われる状態となる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９６】
　ノーマルレート状態において、上記ステップＦ１０４又はＦ１０５で、使用者の切換操作、或いは管理局４０からのレート切換指示として後方優先レートへの移行の操作又は指示を検出すると、コントローラ５１はステップＦ１１１に進み、後方優先レートで撮像（

記録／送信）が行われるようにする。即ち、ストレージエンコード部５３ｂ及び通信エンコード部５４ｂに対するフレームレート及び／又は圧縮レートが、ストレージエンコード部５３ａ及び通信エンコード部５４ａに対するフレームレート及び／又は圧縮レートより高品位のレートとなるように制御する。

これによって後方カメラ部２ｂで撮像される映像データが、前方カメラ部２ａで撮像される映像データよりも高品位な映像データとされて、メモリカード３０への記録、又は管理局４０への送信出力が行われる状態となる。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１０】

ステップＦ２０２で使用者の切換操作、或いは管理局４０からのレート切換指示として前方優先レートへの移行の操作又は指示を検出すると、コントローラ５１はステップＦ２０８に進み、前方優先レートで撮像（記録／送信）が行われるようにする。

即ち、ストレージエンコード部５３ａ及び通信エンコード部５４ａに対するフレームレート及び／又は圧縮レートが、ストレージエンコード部５３ｂ及び通信エンコード部５４ｂに対するフレームレート及び／又は圧縮レートより高品位のレートとなるように制御する。

これによって前方カメラ部２ａで撮像される映像データが、後方カメラ部２ｂで撮像される映像データよりも高品位な映像データとされて、メモリカード３０への記録、又は管理局４０への送信出力が行われる状態となる。

またコントローラ５１は、音声検査部６４からの検出信号の監視を継続する。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１３】

ノーマルレート状態において上記ステップＦ２０３で、或いは前方優先レートにおいて上記ステップＦ２１０で、使用者の切換操作、或いは管理局４０からのレート切換指示として後方優先レートへの移行の操作又は指示を検出した場合、コントローラ５１はステップＦ２１７に進み、後方優先レートで撮像（記録／送信）が行われるようにする。

即ち、ストレージエンコード部５３ｂ及び通信エンコード部５４ｂに対するフレームレート及び／又は圧縮レートが、ストレージエンコード部５３ａ及び通信エンコード部５４ａに対するフレームレート及び／又は圧縮レートより高品位のレートとなるように制御する。

これによって後方カメラ部２ｂで撮像される映像データが、前方カメラ部２ａで撮像される映像データよりも高品位な映像データとされて、メモリカード３０への記録、又は管理局４０への送信出力が行われる状態となる。

またコントローラ５１は、音声検査部６４からの検出信号の監視を継続する。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１３５】

ステップＦ３０２で使用者の切換操作、或いは管理局４０からのレート切換指示として前方優先レートへの移行の操作又は指示を検出すると、コントローラ５１はステップＦ３

０６に進み、前方優先レートで撮像（記録／送信）が行われるようにする。
即ち、ストレージエンコード部５３ａ及び通信エンコード部５４ａに対するフレームレート及び／又は圧縮レートが、ストレージエンコード部５３ｂ及び通信エンコード部５４ｂに対するフレームレート及び／又は圧縮レートより高品位のレートとなるように制御する。
これによって前方カメラ部２ａで撮像される映像データが、後方カメラ部２ｂで撮像される映像データよりも高品位な映像データとされて、メモリカード３０への記録、又は管理局４０への送信出力が行われる状態となる。
またコントローラ５１は、画像解析部６３からの検出信号の監視を継続する。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１３７】
ノーマルレート状態において上記ステップＦ３０３で、或いは前方優先レートにおいて上記ステップＦ３０８で、使用者の切換操作、或いは管理局４０からのレート切換指示として後方優先レートへの移行の操作又は指示を検出した場合、コントローラ５１はステップＦ３１１に進み、後方優先レートで撮像（記録／送信）が行われるようにする。
即ち、ストレージエンコード部５３ｂ及び通信エンコード部５４ｂに対するフレームレート及び／又は圧縮レートが、ストレージエンコード部５３ａ及び通信エンコード部５４ａに対するフレームレート及び／又は圧縮レートより高品位のレートとなるように制御する。
これによって後方カメラ部２ｂで撮像される映像データが、前方カメラ部２ａで撮像される映像データよりも高品位な映像データとされて、メモリカード３０への記録、又は管理局４０への送信出力が行われる状態となる。
またコントローラ５１は、画像解析部６３からの検出信号の監視を継続する。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１５２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１５２】
そして重点撮像対象の方向を向いているカメラ部が前方カメラ部２ａであった場合は、ステップＦ４０５に進み、前方優先レートで撮像（記録／送信）が行われるように制御する。
即ち、ストレージエンコード部５３ａ及び通信エンコード部５４ａに対するフレームレート及び／又は圧縮レートが、ストレージエンコード部５３ｂ及び通信エンコード部５４ｂに対するフレームレート及び／又は圧縮レートより高品位のレートとなるように制御する。
これによって前方カメラ部２ａで撮像される映像データ、即ち重点撮像対象の方向を撮像している映像データが、後方カメラ部２ｂで撮像される映像データよりも高品位な映像データとされて、メモリカード３０への記録、又は管理局４０への送信出力が行われる状態となる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１５４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１５４】

上記のように指定区域に入った時点でステップＦ４０４において、重点撮像対象の方向を向いているカメラ部が後方カメラ部２ｂであると判断された場合は、ステップＦ４０９に進み、後方優先レートで撮像（記録／送信）が行われるように制御する。

即ち、ストレージエンコード部５３ｂ及び通信エンコード部５４ｂに対するフレームレート及び／又は圧縮レートが、ストレージエンコード部５３ａ及び通信エンコード部５４ａに対するフレームレート及び／又は圧縮レートより高品位のレートとなるように制御する。

これによって後方カメラ部２ｂで撮像される映像データ、即ち重点撮像対象の方向を撮像している映像データが、前方カメラ部２ａで撮像される映像データよりも高品位な映像データとされて、メモリカード３０への記録、又は管理局４０への送信出力が行われる状態となる。